



令和6年度 小中一貫教育・CS推進連絡会議

小中一貫教育とCSの充実を目指して

さつない学園（札内中・札内南小・途別小）

昨年度からの課題

学園内のいずれの学校においても、日
々の児童生徒との関わりなどから共通
して、児童生徒の「たくましさ」に課
題が見られた。



課題をうけて

- ①自ら進んで表現できる
- ②最後まで粘り強く取り組む
- ③臆することなく他者と積極的に関われる

↑ 3 点に着目して児童生徒の育成を目指していく



1. CSの充実

～情報の交流とあいさつ運動の充実～



先進的な取組の交流

先進的な取組を行っている地域に出向き、そこで得た情報を共有し、さつない学園の児童生徒の力となることを考えた。本学園の課題である「たくましさ」を身に付けることができるように取組内容を吟味した。



先進的な取組の交流

2回目の会議では、途中経過と成果、今後の計画の交流を行った。

また、他の学校での実践を参考にしながら、地域と学校が手を取り合いながら学園に通う児童生徒のためにできることを交流した。



合同あいさつ運動

秋のあいさつ運動では、地域の方々に案内を出し、参加の呼びかけを行った。

初めての取組ということもあり、地域からの参加者は数名であったが、小中一貫教育の理解を地域にまで広げ、理解を深める取組のきっかけとなった。



合同あいさつ運動

笑顔で一日の
Start!!



2. 乗入授業の充実



参観授業での交流

学園内の学校の授業参観に参加し合い、学校や学級の雰囲気、児童の様子を交流することができた。

実態を把握しながら、乗入授業の授業内容を考えることができた。



乗入授業の充実

令和6年10月1日に、小小合同授業に抱き合わせて実施。

数学の授業（授業者：札内中・近藤教諭）を行う。

残りの小学校生活をどう過ごすかが、中学校進学に向けての準備につながるということを、数学（算数）の授業を通して伝える



乗入授業の充実

(伝えたこと)

- ・ 小学校での学びが中学校での学びに結び付く
- ・ 覚えるだけではなく、考えることが学習のポイントになる
- ・ 復習が大切、その習慣をつけることはもっと大切



さつない学園 乗入授業

2024.10.1 (Tue)

さつない学園「まなび」部の取組の一つとして南小学校で南小・途別小の生徒に向けた乗入授業が行われました。

中学校の近藤教諭から算数の授業を通して「もしもこの世に数字がなかったら？」という問いから、算数・数学の学びの大切さについて考えていきました。

課題について考えながら「なぜだろう?」「どうしてだろう?」と考えることが中学校の学習で必要なことを伝えました。

児童も一生懸命考えたり、意見を出し合ったりとても良い雰囲気の中で授業が行われていました。

今後も、学校と家庭、地域が一体となり子どもたちの成長を手助けしていきましょう。

3. 成果と課題



成果

①「地域をふくめたあいさつ運動」や「小中の生徒指導交流会」など新たな取組を行うことができた。

②乗入授業や小中高が一体となった学び講座を充実させることができた。



課題

①学園の取組を広く地域に発信、呼びかける方法などを
継続して検討する必要がある。

②前年度踏襲ではなく、今いる児童生徒のニーズや実
態、課題に応じた取組の検討をする必要がある。



ご清聴ありがとうございました

